

2016年7月20日

中小企業向けネットワークセキュリティ製品のラインアップ強化  
「ネットワークセキュリティパック」を新発売

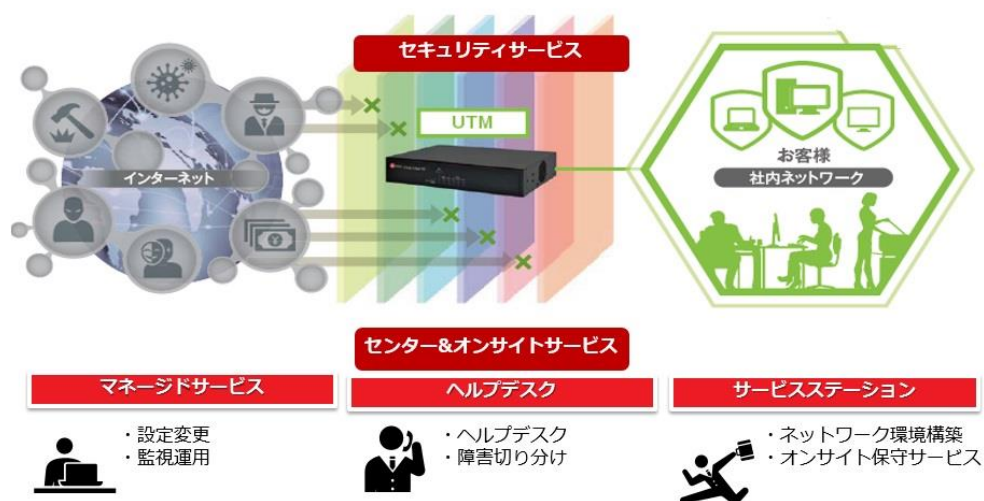
株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)は、自社内に専任のIT管理者がいない中小企業向けのセキュリティ対策ソリューション「ネットワークセキュリティパック」を7月22日から発売いたします。

昨今、不正アクセスや標的型メールをはじめとした様々な手法のサイバー攻撃が増加しており、企業の被害が拡大しています。また、マイナンバー制度の本格運用もスタートし、企業は防御力の高い多層的な情報セキュリティ対策が求められています。一方で、自社内に専任のIT管理者がいない中小企業においては、事業所の開設に伴うセキュアなネットワーク環境の構築から日々の運用管理に関するものまで、IT関連業務に課題を抱えています。

このたび発売する新サービス「ネットワークセキュリティパック」は、巧妙化するサイバー攻撃に対応した安心安全なインターネット環境をご提供します。また、インターネット接続からパソコンの設定などお客様のネットワーク環境の構築から運用までをセンター&オンサイトサービスを活用し、ワンストップでサポートいたします。日常業務の中で、ネットワーク環境に問題が発生した場合は、障害の切り分けや障害対応を実施いたします。

サービス名	ネットワークセキュリティパック
価格(消費税別)	初期料金:203,000円~/月額料金:8,300円~*
販売目標	年間1,200本
発売日	2016年7月22日

※詳しくは販売担当者にご確認ください。



## ＜「ネットワークセキュリティパック」の主な特徴＞

### 1. ネットワーク環境の構築・保守・運用をワンストップで支援

- ・ UTM(Unified Threat Management)の設置からパソコンの設定まで、リコーのカスタマーエンジニアが実施します。
- ・ 日常業務でネットワーク環境に問題が発生した場合、障害の切り分けや対応を行います。
- ・ 巧妙化するサイバー攻撃に対応した安心安全なインターネット環境を提供します。
- ・ マネージドセンターからの遠隔サービスとカスタマーエンジニアによるオンサイトサービスとを組み合わせ、迅速かつ柔軟なサービスを提供します。
- ・ マネージドセンターではお客様のネットワーク機器の稼働状況を監視し、異常検知時にはお客様へいち早くご連絡します。また、機器の設定変更をリモートで行うことも可能です。

### 2. 統合的なセキュリティ機能を搭載したUTMによる充実のサービス内容

- ・ ウイルス・スパイウェア対策・・・ネットワークの入口での不正プログラム対策
- ・ Webレピュテーション・・・危険・不正なWebサイトへの接続遮断
- ・ URLフィルタリング・・・企業活動に不要なサイトへの接続制御
- ・ ボット通信検知・・・遠隔操作となるC&C通信の検知と防御
- ・ 不正侵入防御(IPS)・・・OSやアプリケーションなどの脆弱性を突く攻撃から保護
- ・ アプリケーションコントロール・・・アプリケーションを認識して細やかに制御
- ・ ファイアウォール・・・プロトコル、ポートなどによる制御
- ・ メールセキュリティ・・・不正・迷惑メール対策

※ニュースリリースに掲載されている社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

---

### ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービス、プロダクションプリントソリューション、ビジュアルコミュニケーションシステム、デジタルカメラ、産業用製品・サービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2016年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,090億円)。

創業以来80年にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能社会の実現への積極的な取り組みを行ってきました。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>